

マルキ通信

第32号

会長 川島徹也

2012年度無事終了いたしました。今年の正月は二十数年の野沢温泉スキー場での年末年始のスケジュールを大幅に変更し、1月14日(土)、15日(日)ハイパーボウル東鉢で試みました。年末年始をはさまないということ、距離が近いということ、日々のメンバーや初めての方など多くの方が参加されました。旧来からの伝統スケジュールを変更するのに多少戸惑いながらも事前の打ち合わせなど協力スタッフのおかげで、特に三宅指導員に宿の手配などツアー全般の運営をお願いし無事終了することができました、ありがとうございます。

取り入れ進化し続けますので皆様ご期待ください。またご意見も是非お待ちしていますので私を含めスタッフへお気軽にご要望を頂きますようお願い申し上げます。

2012年シーズンを振り返って

久々にマルキ通信創刊号を見てKサークルで20年前にどのようなことが行われていたか思い出しました。当時参加者は約80名、バス2台でも一杯一杯でした。皆さんも是非一度ホームページの会報を覗いてみて下さい。会報をご担当頂いている石脇指導員にはいつも大変感謝いたしております、ありがとうございます。

残念ながら春ツアーは日程の関係で指導者を含め参加予定者が見込めず昨年に引き続き中止いたしました。来年に向けより多くの参加者が楽しみながらレベルアップできるよう常に新しい変化を



ハイパーボウル東鉢ツアー

奈良県スキー連盟
関西Kサークル
スキークラブ



今年は寒かった！！

続く寒さ 今世紀トップ級 (2012/1/31 朝日新聞朝刊より)

シベリア側の寒気が日本列島付近に流れ込み、地域によっては21世紀に入ってから1~3位という水準の寒さが続いている。気象庁の資料では、今月21日~29日の各地の平均気温は、平年の1月下旬と比べて低い。北日本では2001年以降で最も寒い平年比マイナス1.4度、西日本でも3番目に寒い平年比マイナス0.7度だ。気象庁によると、31日以降、日本海側を中心に大雪が数日間続く見込み。2月1日は、平地でも大雪になる恐れがある。関西電力管内は電力使用率が30日午後6時台に90%に達し、今冬初めて「やや厳しい需給状況」(90%以上95%未満)となった。

小田雄啓さん

スノーボー 2級合格

今年1月14・15日に初めてKサークルのツアーに参加させて頂きました。一人だっただけで、2回目のチャレンジだった2級検定も担当して頂いたインストラクターのお二人の御蔭で合格することができ、最高のツアーとなりました。誠に感謝しております。あと感じたことは講習に参加したほうが受講者やインストラクターの方々と親しく過ごせると思えました。

黒田幸嗣さん

〇年振りのグレンデ

久しぶりのKサークル参加です。懐かしいお顔や初めてお会いする方、中には風貌が大きく変容されたように見受けられる方も。スキー自体も久しぶりでウェアや道具も時間が止まったまま。ツアー参加前は怪我だけはしないように考えていました。

グレンデに近づくと、以前のよう滑ることが出来るだろうか、急斜面になったら「お腹痛い」と言って休もうと、2日目は筋肉痛で起き上がれなかったらどうしようかと、止まればなかつたらどうしよう。体力だけなく意欲も記憶も後退していく一方で、初めてスキーに行った頃と同じような心配をする始末。グレンデに出たの初滑りで「お、滑れるじゃん」(思っていたのは本人だけで心優しい先生方は何も仰いませんでしたが)。早上がりすることなく、何とか無事に皆さんと最後まで滑れました。それにしてもみなさん元気ですね。負けないようにとは思いますが平地で転倒したり、なかなか起き上がれなかったり、運動不足と体力の低下を痛感しました。短い時間で、楽しいひと時を過ごさせて頂いてもらいました。また参加した時はよろしくお願ひします。



サマー・レクリエーション
 8月4日(土)日帰り
 甲子園浜
 パーベキューと
 ウィンドサーフィンを
 楽しんじゃおう!

川守田康行さん
パラグライダーの楽しみ
 私のフライトエリアは兵庫県丹波市、岩屋山(718.3m)です。テイクオフとランディングの高度差は約500mあり、ぶっ飛び(全く上昇気流を掴めず滑空して下りること)でも6分7分かかります。
 パラグライダーの楽しみはやはりサーマルソアリングでしょう。地形や風、日照、トンビの飛び方などからサーマルを見つけてだし、上手くセンタリング(上昇気流に合わせて旋回を続けること)すればどんどん高度が上がって行きます。岩屋山を見下ろすようになれば次は何処へ飛んでゆこうかということになります。良い上昇気流を見つけて高度を上げ、次の目標地点に飛んでまた上昇気流を探すためには経験と技術が必要です。
 ベテランパイロットであれば上手に気流に乗って1、2時間は飛び続け付近の山を周遊して遊びます。

私はパラグライダーを始めてまだ3年経っていません。それでも条件が良ければトップアウト(テイクオフしたところより高く上がること)して20分30分飛ぶことも多くなりました。まだ練習生(プライマリパイロット)ですからトップアウトしても好きなところに勝手に飛んでゆくことはできません。インストラクターの指導を受けながら遊んでいると云うレベルですね。
 サーマルに入って上昇している時は機体も揺れるのでしっかりとコントロールしなければなりません。が穏やかな飛行をしている時はブレークコードから手を離してデジカメで写真を撮ったりするのも楽しみです。
 昨年と昨年はフランスのアヌシー湖周辺に1週間ほどのツアーに行ってきました。
 フランスはパラグライダー発祥の地というだけあって国として振興を図っているようでフライトエリアが多く、よく整備されています。(下へつづく)



Chamonix フライト

おめでとう!

検定結果報告

東鉢ツア

1/14-15
24名参加

スノーボード

- 2級 小田雄啓
真田佑美
前川佳代
- 3級 寺元由紀
相徳沙歩



スキー

- 2級 大洞貴信
立野久
鷺飼和行



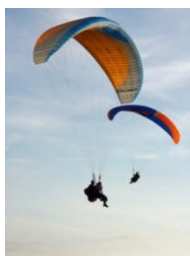
八方ツア

4/6-7
12名参加



編集後記

編集者：
金田、石脇
 今シーズンはネットを通じて仲間の輪が広がりました。ネットの力を痛感しています。来シーズンもよろしく!



タンデム飛行

(上より↓) アヌシー湖やレマン湖、モンブラン等の雄大な景色を眺めながらのフライトは感激でした。
 そしてあちらでは大陸ですから上昇気流も半端じゃない。ゴンボノという冬にはスキー場になるエリアで飛んだ時は高度2650mまで上昇、2時間を越す大フライトが私の初級機でも出来ました。
 私は今年中にパイロットの資格をとりたいと思います。
 冬の間はスキー、スノーボード遊び回るので大きなブランドが出来る、パラグライダーの進歩が遅いですがこれから頑張ります。
 パラグライダーはスキーやスノーボードよりずっとゆったりした気分景色なども楽しんで遊べるスポーツです。
 ちょっと体験してみようという方はタンデムという前席にお客さんが乗って後席でパイロットが操縦するパラグライダーがあります。やってみませんか。